

4月27日(土) P T A総会ごあいさつ

校長

本日はお忙しい中、さらには連休初日の大切なお休みのところ、大勢の皆様
にP T A総会にご足労をいただき、誠にありがとうございます。日頃は本校の
教育活動に対しまして、ご理解並びにご協力を賜りまして、心より御礼を申し
上げます。学校としても保護者の皆様と直接お話をさせていただくことのでき
る機会を持つことは、大変に有意義であると感じております。せっかくの機会
でございますので、少しお時間をいただき、お話をさせていただきたいと存じ
ます。

昨年より参集での総会を再開することができ、皆様と対面でお話しできるこ
と、この上ない喜びでございます。会の開催にあたりご苦勞をいただきました
P T A役員の皆様、そして先立って行われた評議員会にご出席くださいました
評議員の皆様には、この場をお借りして御礼を申し上げます。さて、今年度は
例年と異なり、保護者全員の皆様に、会長・校長連名による入会のお願いの通
知を配布させていただきました。これは、昨年のアンケートでP T Aが強制参
加ではないことを事前に示してほしいというご意見をいただきましたことより
ます。しかしながら、このご通知をお出しすることで、あらためてP T Aには
学校運営の中核の部分でお世話になっていることや、お忙しい中できるだけお
手間をおかけしないようなシステムになっていることをお知らせできて良かつ
たと感じています。皆様にはご加入いただきまして、校長といたしましても感
謝を申し上げます。

昨年度、長野県教育委員会は、第4次教育振興基本計画というのを出しまし
て、多様化が進み予測が困難な社会の中において、個人の幸せや生きがいを実
感できる、持続可能な社会＝個人と社会のウェルビーイング＝の形成に資する
教育を進めたい。そのために、一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」を
とことん追求できる「探究県」長野を目指すという方針が出されました。入学
式の際にもお話ししましたが、深志高校では先輩から脈々と受け継がれてきた
自治による様々な取り組みこそ、自由に好きや楽しい、なぜを追求してきたも
のであり、そこで得た意欲や経験を生きる力を将来につなげるとともに、大学
受験等に向けての学びのモチベーションにつなげてきたものでもあります。深
志の伝統的な学びが、実は長野県のフロントランナーとなっていることをご紹
介しておきたいと思えます。

現在、1、2年生の探究学習においては、2学期になりますと土曜日に信州大学連携ゼミや深志教養ゼミといったプログラムを実施しております。大学での学びについてや、新たな興味関心の発見など、課題解決的な探究学習と並行して知の探究を進めながら、学びのモチベーションを高めていきたいと考えています。

まさに現在県教委が推奨する学習サイクルを、本校では生徒たちが伝統的に作り上げてきていたわけです。こうした古いけれど先進的な学びのスタイルを支援し、助力していくことが我々教員や保護者の皆様の役割であると私は考えております。

こうした学校の動きに関しましては、保護者の皆様や多くの皆様にもお伝えできるよう、学校からの情報発信の機会を増やしていきたいと考えています。これまでも学年通信の定期的な発行をはじめ、リニューアルしたホームページなどで学校の様子をお伝えして参りましたが、ホームページでの校長通信に加え、メールによる教頭通信の発行、さらには中学生向け学校案内の生徒によるリニューアルなど、様々な機会を通じて学校の様子をお伝えすることができればと考えています。

【議事終了後 その他連絡 校長より】

3点ご連絡を申し上げます。まず1点目は、昨年この会でもお話をしましたが、教員によるわいせつ行為や飲酒運転などの非違講師を防止するための本校の取組でございます。昨年度も長野県内で残念ながら複数の非違行為事案によって小中高校の教員が懲戒免職などの処分対象となってしまいました。本校ではこうした非違行為防止のため、資料15ページ、及び、16ページに示したような確認事項を設け、日常生活において非違行為に結びつくようなきっかけを、発生させないよう心掛けています。さらに複数回の研修会を通じ、これらの問題がけっして他人事ではないことを落とし込めるよう取り組んでいます。またこれらの取組について、学校医さんやPTA会長さんを含む、健全な職場づくり推進委員会で評価をいただいています。保護者の皆様におかれましても、もし何か気になる点や心配される点がございましたら、そこに記載の相談員、あるいは県の相談窓口までご相談くださいますようお願いいたします。

2点目ですが、部活動の申し合わせ事項です。資料の 17 ページをご覧ください。(HPにも掲載。) 現在運動部は中信総体を前にして、練習や各種大会が佳境を迎えているところかと思われます。特に3年生は最後の大会になる人もあるかと思われますので、悔いの残らないよう頑張っていたきたいところです。各部では、オンシーズン、オフシーズンも鑑みながら、この申し合わせの趣旨に沿って、練習計画を立てるよう各顧問をお願いしておりますので、これに関しましてもご質問等があれば、各顧問あるいは教頭までお問い合わせください。

3点目、これで最後ですが、災害発生時の対応についてです。資料の 18 ページをご覧ください。能登半島で大きな地震があったため、校舎の耐震性等、ご不安の声が聞かれました。これにつきましたはHPの校長通信でもお伝えしましたが、平成 19 年度に行われた耐震診断を受けて、不十分であると診断された図書館と講堂については平成 20 年代に耐震化工事を済ませております。さらに2年前より本校生徒会の地域交流委員会が長野県に働きかけを行った結果、長野県のすべての高校で、災害時用の備蓄が随分整えられてきました。本校では他校に先駆けて、災害により生徒が学校にとどまった際に必要となる食料と飲料水を、各学年費にお願いして全員分購入しています。さらに2年間をかけて簡易トイレや防寒シートなどが県より配布され、本校では同窓会のご協力により既に購入していた分と併せ、かなりの数を確保することができました。こうした備蓄により、学校に生徒がいるときに、大きな災害が起きて通行の安全が確保されない場合、校内で避難した生徒は基本的に留置きとし、その際に一日の間は備蓄した食料、飲料水、簡易トイレ、防寒シート等を用いてしのぎ、翌日からは松本市からの救援物資によることを市とも確認をしております。帰宅に関しては、基本的に保護者の皆様への引き渡しとなります。保護者の皆様をお願いしたいのは、ぜひ生徒と災害時に落ち合う場所の確認をすることと、学校にとどまっているかどうかを災害時に知るために、あらかじめ災害伝言ダイヤルを試していただきたいと存じます。もちろん、災害時には学校から一斉緊急メールにて状況の配信を行いますが、メール等の連絡が通じなくなった際、またスマホが使えなかった際利用できるのが、災害伝言ダイヤルです。2、3年生は昨年、一昨年の防災訓練の折に練習でやっておくことを推奨しましたが、あらかじめ伝言を聞くための番号を決めておくためにも、あらためて事前練習を推奨いたします。詳しくは校長通信第 282 号をご参照ください。また、台風

などの豪雨、積雪に関しては、数日前より天気予報を見ながら市内5校の学校間で登校計画を検討し、当日の列車運行状況なども見極めながら、できるだけ早い段階で休校、一部休校、授業打ち切りなどの判断を行い、緊急連絡メールを通じて、生徒保護者の皆様に連絡を行ってまいります。この他熱中症対策等、資料の方をお読みください。

安心安全と言えば、とにかく我々が最も心配しておりますのが自転車の乗り方です。こればかりは、なかなか改善されず、方策に頭を悩ませています。最も危険なのは、特に坂道を下っていく、一時停止無視、特に明倫坂を下った久保田外科の前の信号のない交差点ですよね。それと、こまくさ道路の深志ヶ丘団地前の歩行者用信号無視です。自分の命もちろんですが、歩行者の方の安全も脅かす存在になっていて、地域交流委員会では毎回課題として地域の皆様から指摘されているように感じます。またヘルメットも努力義務化されて、随分着用が進んでいますが、ぜひ全員に着用してほしいと願っています。

校長の話としては、細かいことをお願いいたしましたが、生徒の安心安全な生活のために、そして、ご家庭と学校が連携して学校運営を進めることができますように、今後ともご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に心温まるお話を一つ、本日丸ノ内消防署より本校生徒に感謝を伝える電話がはいりました。本日朝、登校中の1年生の生徒2名が、道路に倒れていたお年寄りに気づき、119番通報をするとともに、近所に連絡して助けを呼んでくれたそうです。救急搬送されたお年寄りは事なきを得たようで消防署の方も本校生徒の勇気ある行動を讃えてくださいました。素敵な子供たちをお育ていただいていることを、あらためて感じております。そしてこれからも、ご家庭、学校ともどもで、支援して参りたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。